



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶



市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp

第538号

2022年2月14日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

2022年度八千代市の予算（案）の特徴

八千代市の2022年度予算（案）が発表されました。

一般会計は、652億6千万円で、対前年度比 68億5千万円 11.7%の大幅増となっています。

歳入では、個人市民税 6億7千万円、法人市民税 3億2千万円、固定資産税 4億8千万円など市税全体で、16億6千万円の大幅増となっています。その他、地方消費税交付金 約4億円の増、地方交付税 2億7千万円、国・県からの支出金 約18億円、市の借金である市債 13億3千万円増などです。



歳出では、教育費 26億6千万円の増で、東八千代調理場整備などに21億1千万円、民生費 17億円の増で、児童発達支援センター等整備事業に5億9千万円、民間保育園の保育士の処遇改善に2億2千万円、衛生費 12億2千万円の増で、ワクチン接種事業等に7億7千万円、成人保険事業に6億5千万円、総務費 10億4千万円の増で、本庁舎第2別館（上下水道局の移転先）の増改築に約11億円、旧八千代台東第2小学校跡地整備に2億3千万円、土木費 道路橋梁補修事業に6億8千万円などが計上されています。

市の財政の現状をどう見るか

2020年度の普通会計決算では、主な財政指標から、経常収支比率では、対前年度1.7ポイント減の95.6%で若干の改善となったとしています。地方債現在高は、対前年度から約32億円減の約480億円、公債費負担比率は、対前年度比0.4ポイント減の13.8%と、「一定の改善が見られた」と市は評価しています。

さらに、財政調整基金では、対前年度約4億3千万円増の約27億8千万円で、標準財政規模の8%と「潤沢とは言えないが一定の確保がなされている」と、市は評価しています。

日本共産党は、市財政の一定の改善は、何よりも消費税の10%への増税による市民負担の結果であり、コロナ禍のなかで大企業・資産家は空前の利益を確保する一方、連続する「蔓延防止等重点措置」のもと、庶民の暮らしと生業は、危機に瀕しています。

市民の暮らしを守る防波堤の役割を

「新型コロナウイルス感染症から市民の生命・健康を守ることは最優先の課題」としているにもかかわらず、3回目のワクチン接種は、いまだ10%にも届いていません。岸田自公政権の「成り行き任せ」が、高齢者や医療従事者の命を奪い、医療崩壊をつくり出しているのです。

市政では、高すぎる国民健康保険料・介護保険料の引き下げは急務です。過度に積み立てられた基金（国保—7億6千万円、介護—14億円）を活用して引き下げるべきです。

日本共産党は、市民の命と暮らし、生業を守り・発展のために全力で頑張ります。